



第109号

秋臨技だより

第109号

発行所
〒010-0011 秋田市南通亀の町6-9
シティガーデン南通 I 101
TEL/FAX: 018 (825) 2116
Email: aamt-01@comet.ocn.jp
<https://aamt.sakura.ne.jp>

発行人 高橋 一彦
編集主幹 渡邊 正人

目次

会長ご挨拶・・・・・・・・・・1	新入会員情報・・・・・・・・・・5
令和5年度通常総会・・・・・・・・2	豪雨被害の災害見舞金について・・・・6
厚生労働大臣表彰・ 永年職務精励者表彰・・・・3	令和5年度行事予定・編集後記・・・・7
永年職務精励者から・・・・4	

新年度のご挨拶

(一社) 秋田県臨床検査技師会 会長 高橋 一彦



昨年6月の通常総会以後、秋田県臨床検査技師会は新理事・役員体制でスタートして早2年目を迎えました。改めて代表として会員の皆様にご挨拶申し上げます。

最初に7月15日から数日間発生し続けた東北北部に及ぶ記録的な大雨被害に触れなければなりません。この大雨は秋田県民が過去に経験したことの無い甚大な被害をもたらしました。特に秋田市内における河川氾濫及び内水氾濫、そして秋田市近郊及び以北の市町村における豪雨の影響は計り知れないものと推察されます。秋田市在住の会員に於いても、住宅浸水等の被害に遭われた方が相当数居られることが分かりました。被害に遭われた会員の皆様には心よりお見舞い申し上げます。そして、県内被災地の一日も早い復興と、このような災害が繰り返されないことを願わずにはられません。

さて、秋臨技では去る6月10日に令和5年度通常総会を開催致しました。ご多忙のところ総会にご出席くださいました会員の皆様、また総会役員をご担当下さった会員に御礼申し上げます。総会では令和4年度事業・決算報告、そして令和5年度の事業計画及び予算案の各議案が全て承認されました。議案承認を受け、理事・役員一同は心新たに秋臨技の事業遂行のため邁進する所存です。

新体制となつての1年間、新型コロナウイルス感染症は第7波、第8波の拡大・縮小を繰り返しました。しかし、本年5月8日に感染症法上の分類が5類になり、社会状況は正常化に向け遅れを取り戻すかのように動き出していることは、皆様ご承知のことと思います。

秋臨技に於いては、研修会はWebをメインに整備し、秋田県医学検査学会は県北支部担当でハイブリット形式にて開催する等、可能な限りの企画で会員の皆様にご参加いただきました。また、由利支部担当で開催された「検査と健康展」では日臨技が目的とする中高生や市民への職業紹介を主とした企画に健康チェックを加え、市民やこれから臨床検査技師を目指して欲しい学生に紹介することができました。最近では研修会も現地開催が多くなり、秋臨技でも感染拡大以前のよう事業開催が出来ているものと感じております。

昨今、私たち臨床検査技師を取り巻く環境には多くの変化があります。日臨技としても医師の働き方改革に発した「タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」は勿論のこと、「臨地実習指導者講習会」「品質保証施設認証制度」「病棟業務タスク・シフト/シェア」、そして技師会組織における人材育成を目的とした「地域ニューリーダー育成講習会」等々、多くの事業が展開されております。私たちは常に環境の変化を理解し、周囲に遅れることなく参画していく必要があります。

今年度以降も秋臨技の事業は、「医学検査学会」「検査と健康展」といった大きな事業も4支部持ち回り制で開催される方向となっております。各事業にあたり、益々各支部会員の皆様にはご協力をお願い致しますが、臨床検査技師及び同技師会という職能団体を全県下各地域でアピールできる絶好の機会と思っております。

会員皆様には今後とも秋臨技事業へのご支援ご協力を賜りたく、引き続きよろしく願い申し上げます。新年度の挨拶とさせていただきます。

一般社団法人 秋田県臨床検査技師会

令和5年度通常総会

令和5年6月10日（土）13時から秋臨技令和5年度通常総会が秋田市にぎわい交流館AU（あう）で開催されました。コロナ禍もようやく過ぎ去り世界が大きく動き始めたように思われます。今回の通常総会は正会員571名中、出席者62名、書面表決書提出者226名、有効委任状190名、合計478名で成立し、議長に選出された北村 一幸氏（かづの厚生病院）、三浦 美奈子氏（秋田県総合保健事業団）による議事進行のもと、令和4年度事業・決算報告並びに監査報告、令和5年度事業計画及び予算案、議案について審議され承認されました。

第1号議案 令和4年度事業・決算並びに監査報告

第2号議案 令和5年度事業計画及び予算案

第3号議案 定款の改訂

第4号議案 名誉会員の推薦

引き続き、勤続30年、勤続20年の永年職務精励者表彰が行われました。



厚生労働大臣表彰 (臨床衛生検査業務功労者)



令和5年6月24日(土) ホテル雅叙園東京にて日本臨床衛生検査技師会「創立70周年・法人化60周年記念式典」の中で厚生労働大臣表彰(臨床衛生検査業務功労者)が執り行われました。本県から高橋一彦会長(雄勝中央病院)・鎌田雅人氏(秋田県総合保健事業団)の両名が表彰されました。おめでとうございます!

永年勤続表彰

今年度は勤続30年の8名、勤続20年の7名の永年職務精励者表彰が行われました。
(個人情報保護の観点から、今年度より名簿の掲載はしないことと致しました。)



勤続20年永年職務精励者から



秋田大学医学部附属病院 菊地 優子

あつという間の20年

私は大学卒業後に内視鏡技師として3年間勤務した後、地元秋田に戻って現職場に入職し、早いもので20年が経ちました。入職時は諸先輩方にご迷惑をかけっぱなしでしたが、サジを投げずにご指導して下さったお陰で今の自分がいると思っております。沢山の失敗をして自信が持てないながらも、色々な経験を積んで少しずつ力になっていったと思います。また、学会・研修会の参加や発表が自分への良い刺激となり、そこで知り合った県内外の他施設の技師が今では助けてくれる存在となり、次の経験に繋がるきっかけにもなったと実感しています。

現在は血液部門長の経験を経て、学術部長として県技師会にも携わっておりますが、力不足で理事の皆さまに支えていただきながら活動しております。今後は今まで自分が与えてもらったことを後輩に還元し、また理事として県技師会の益々の発展のために努めていきたいと思っております。この度はありがとうございました。

勤続30年永年職務精励者から



平鹿総合病院 吉田千穂子

永年勤続30年を迎えて

30年前、臨床検査技師学校を卒業後、秋田県厚生連に就職、臨床検査技師の資格取得後すぐに秋田県臨床検査技師会に入会しました。これまでの仕事の経歴は生化学－輸血－細菌－一般－生理－血液－生理（超音波）検査を1か月～年単位でローテーション、職場は厚生連で秋田－大曲－秋田－平鹿を転勤し、落ち着きのない技師人生だったと思います。

秋臨技の方では主だった経歴のない私が30年目の節目に理事を拝命し、先日は県立横手高校で職業紹介の講話、今はこの原稿の執筆と新たな活動に励んでいます。今後は「健康と検査展」、「秋田県医学検査学会」が県南で開催されるため、皆さんと協力しながら盛り上げていきたいと思っています。

この度は永年勤続表彰をしていただきありがとうございました。記念品でいただいたサーモスの水筒は周囲の評判も良く、愛用させていただきます。今後の臨床検査技師人生をより有意義なものにするべく、趣味の時間も確保しながら両立していきたいと思っております。

新入会員情報



今回は17名と大勢の新入会員の皆さんを迎え入れることができました。

今年度から対面での学会、研修会などがたくさん企画されると思いますので積極的に参加してもらいたいと思います。

個人情報保護の観点から、今年度より名簿の掲載はしないこととしました

由利組合総合病院 阿部 咲来

今年度より、由利組合総合病院の臨床検査科に勤務しております。所属は生理検査部門ですが、この3ヶ月間で生理検査以外の検体部門全ての部署を回り、日当直業務について教えていただきました。これから1人での業務も始まりますので、自信をもって正確かつ迅速な検査ができるよう努力してまいります。

現在は、生理検査部門で日々多くのことを学びながら業務に従事しています。患者さんとコミュニケーションを取りながら検査を行うのは、苦戦することもあります。やりがいを感じる場面も多くあります。また、心臓超音波検査の勉強も始まり、基礎知識と技術の習得に励んでいるところです。

まだまだ未熟者ではありますが、臨床検査技師として自分が行う検査に責任を持ち、正確な検査結果を出せるよう日々精進してまいりますので、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

秋田大学医学部附属病院 菅原 直央

意気込み

今年度より、秋田大学医学部附属病院に勤務しております。この3ヶ月は生化学・免疫検査部門、血液検査部門にて基本的な業務を教えていただきました。

検体検査では毎日多くの検体が提出されますが、結果を迅速に間違いなく送信できるよう検体処理を行っております。結果報告の際には、先輩方のご指導のもと、確認を心がけ正確に検査結果を伝えられるよう努めております。

慣れない検査業務や機器のメンテナンスに日々苦戦しておりますが、一人で任せていただく業務も増え、臨床検査技師としてのやりがいや仕事の楽しさを実感できるようになりました。まだまだ至らない点も多いですが、採血手技や検査結果の解釈に関する知識を身に付け、いち早く一人前になれるよう努めてまいります。

皆様にはご迷惑をお掛けしますが、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

一般社団法人 秋田県臨床検査技師会

令和5年度7月の豪雨被害における災害見舞金について

この度の豪雨は県内各地に大きな被害をもたらし、会員の皆様も心を痛めていることと拝察いたします。被災されました会員の皆様には心よりお見舞い申し上げ、被災地の一日も早い復興を心より願っております。

さて、当会では会員の皆様が被害に遭われた場合、申請により災害見舞金を支給しております。今回の豪雨に際しまして被災された会員については、下表の通り見舞金が給付される制度があります。給付については会員の申請に基づき理事の承認が必要となりますので、下記により申請していただきますようお願いいたします。

今回の大変な事態に会員の皆様には、ご苦勞も多いことと存じますが、皆様の安全を心よりお祈りいたします。

記

1 秋臨技災害見舞金支給範囲および額等

被災状況	金額 (円)	対象
全壊、焼失、流失	150,000	会員の居住する家屋
半壊、半焼	100,000	会員の居住する家屋
床上浸水	50,000	会員の居住する家屋
床下浸水	30,000	会員の居住する家屋
落雷	20,000	会員の所有する家財
廃車	30,000	会員が使用する車両

※該当するかどうかわからない場合も、ご連絡ください。

調査の上、該当するかどうかをご連絡します。

※災害見舞金は親子・ご夫婦で同一住所でも会員1人に1件として支給いたします。

2 申請に必要な書類等

- ① 所定の申請書 (添付の申請書)
- ② 被災の状況がわかるもの (各自治体の発行する罹災証明書、被災証明書)
- ③ 罹災・被災証明書の発行を受けられない場合及び廃車等の場合は
修理見積書、廃車証明書、被災状況がわかる写真等の添付

3 申請方法

上記2 の書類を各個人で郵送、FAX 又はメールにて秋臨技事務所に申請して下さい。

また一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会においても、日臨技の会費減免に関する細則がありますので、添付の文書をご確認下さい。なお申請は個人にてお願いいたします。

送付先 一般社団法人秋田県臨床検査技師会 事務局
〒010-0011 秋田市南通亀の町 6-9 シティガーデン I-101 号

E-mail aamt-01@comet.ocn.ne.jp

電話 018-825-2116 (月・水・金) 13:00~16:00

令和5年度 行事予定

日付	行事名	会場等
令和5年6月10日	令和5年度通常総会	にぎわい交流館AU
令和5年10月28日	第45回秋田県医学検査学会	由利組合総合病院
令和5年11月11日	第35回検査と健康展	御所野イオン
令和5年11月	秋田県臨床検査精度管理調査	全県下
令和5年11月4～5日	第11回 日臨技北日本支部 医学検査学会	福島県
令和6年6月	秋田県臨床検査精度管理 調査報告会	秋田市

編集後記

今回の<秋臨技だより>から紙媒体を廃止しWebでの掲載となりました。慣れないことゆえ見づらいところもあるでしょうが、少しずつグレードアップしていきたいと思います。これから新しい企画の掲載も含め気づいた点がありましたら教えて頂ければ幸いです。

北秋田市民病院 渡邊 正人